

【研究課題】

異状死剖検例における脳血管病変のリスク要因評価

研究期間：2021年4月1日～2023年3月31日

適格基準に該当した事例について、性・年齢等の基本情報、既往歴・現病歴および剖検時に採取した中枢神経組織や腎臓の代表的部位について、その深部血管の病理組織所見を取得した。中枢神経の病理所見は、microbleeds 所見は認められなかった。サンプル数を更に増やすことで、microbleeds の有病率の推定が可能になるとは考えられたが、本研究でのサンプル数は特定できないものとして結論付ける。脳と腎の血管病変の病理形態的所見には一定の相関が見られているが、腎疾患としての症状の有無については明らかとは言えなかった。しかし、今後は、サンプル数を増やすと共に、より適切な研究デザインを計画することで、腎病変の程度から脳血管の病変の有無又は病勢の評価につながる基本データを得る可能性が示唆された。